

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宇治大久保・城島マンション新築工事	階数	地上6F
建設地	宇治市大久保大久保町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、七丁目、八丁目、九丁目、十丁目、十一丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・第三種高度地区・準防火地域	平均居住人員	144 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年12月16日
敷地面積	2,409 m <sup>2</sup>	作成者	高松建設株式会社 嶋村 邦彦
建築面積	721 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,075 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.7</b> ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★☆☆☆ A: ★★☆☆☆ B+: ★★☆☆☆ B: ★★☆☆☆ C: ★</p>	<p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★★☆☆☆ 80%: ★★★☆☆ 100%: ★★★★☆ 100%超: ★★★★★</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目目で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 3.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 2.6</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア= 1.5</p>
LR 環境負荷低減性		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 3.6</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 2.7</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア= 2.6</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	BEIが90%以下となるよう設計し、省エネルギー化を図っています。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気汚染を回避しています。	居室部分の天井高さを高くすることで、開放感のある空間となるよう計画しています。	植生を適度に計画することで、町並みや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建具に複層ガラスを採用して、省エネ化を図っています。	外壁、屋根等について、仕分けがしやすいよう配慮しています。	広告物照明を行っていません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

